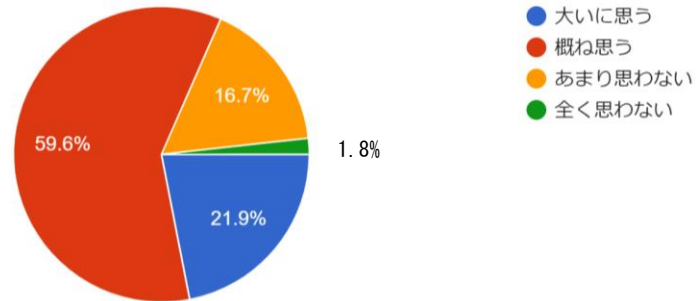


## 【教職員】令和4年度TCPトリビンスプラン取組アンケート

回答数 114件

## 1 子供の「確かな学力」を保障する環境づくり

(1) 授業日の平準化により放課後の時間を生み出したことは、教員の授業準備の時間を確保し、子供の学力を保障することにつながっている。



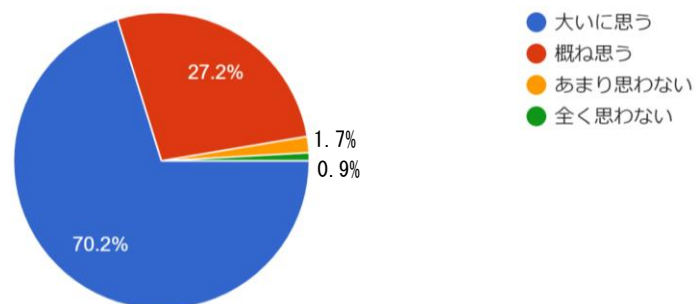
## 【肯定的な意見】 81.5%

- ・平準化によって放課後の時間が生まれることで、授業準備時間の確保のみならず、職員の心の余裕にもつながります。多忙「感」を減らす取組だと感じています。
- ・放課後の時間に、授業のワークシートやICT教材の準備ができて、早い時間に帰宅可能となった。
- ・何よりも学習がゆとりをもって取り組めているように思う。子どもの負担も以前に比べて少ない。
- ・放課後に教材研究をして、よりよい授業づくりを考える時間ができています。
- ・日々の授業準備を計画的に行えたり、学年や分掌関係の職員が話し合っ進める時間が取れているように感じる。

## 【否定的な意見】 18.5%

- ・平準化されても会議などが多く入ってしまうと時間の確保がなかなか難しい。
- ・授業日数が増え、逆に精神的なストレスが増えている。
- ・部活動がある以上、放課後の時間の活用は限界がある。

(2) 各校にALTを1名ずつ配置したことは、子供の英語学習の充実につながっている。



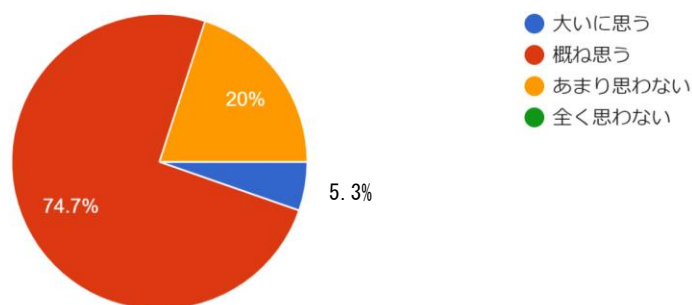
【肯定的な意見】 97.4%

- ・子供たちは、外国語の授業を楽しみにしている。さらに、子供の会話の中で時折英語の単語や言い回しが聞かれ、子供の会話力が向上したことを感じる。
- ・ALTの先生には多く助けられています。通訳など他にも多くのことをしていただきありがたく思います。
- ・直接ネイティブな発音を聞くことができるのは、子ども達にとってとても大切なことだと感じます。
- ・ALTがとても工夫して授業を行っているので子供の英語嫌いが解消されていると思う。
- ・専科教員と授業について打合せができているため、授業内容が充実していると思う。

【否定的な意見】 2.6%

- ・吉田中学校はクラス数が多いため、ALTと関わる時間は2週間に1回となっているため、なかなか関わりが多くならないのが実情です。

(3) プログラミング共通教材 (MESH) は、子供のプログラミング的思考を高めることにつながっている。(小学校) 回答数75件



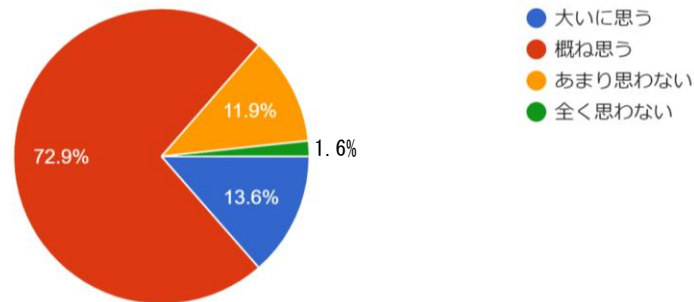
【肯定的な意見】 80.0%

- ・活用場面が限定的ではあったが、活用できた場面ではとても有効だった。
- ・実際に使う回数を増やしていくことが大切だと思います。
- ・使用頻度が少ないので、もう少し学習に組み込んでいけたらと思います。

【否定的な意見】 20.0%

- ・自分でプログラミングをしたゲームを見せてくれた児童がいる。すごいなあと感心させられた。反面、教員がICT機器を活用した授業に意識が向いているため、プログラミング授業が余り推進されてない現状がある。
- ・充電が一度にできないので、使用時に使えないことがある。
- ・教材を効果的に活用できていない。

(4) 学校独自の中間テストを実施したことは、教師が生徒の学習状況をタイムリーに評価し、指導に結び付けることで、学力向上につながっている。(中学校) 回答数59件



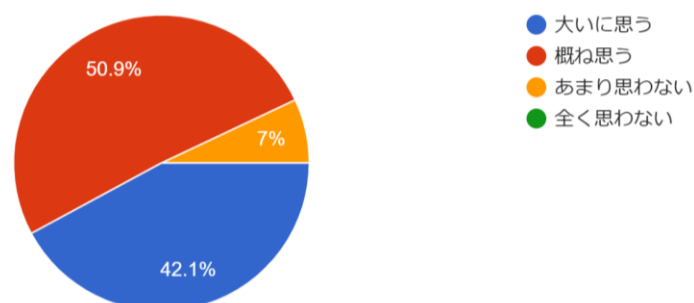
【肯定的な意見】 86.5%

- ・全国学力調査の結果をもっとよくするべき。そのために必要
- ・テストがあることで、自己目標を持ってその達成に向けて勉強する生徒の姿も見られる。
- ・子供たちに勉強の方法などを考えるいい機会を保証できた。
- ・テスト範囲が減り、学びが結果に反映されやすくなることで、やる気は伸びやすくなっていると感じます。
- ・自分自身の指導の結果を評価するのに役立っている。ただし、問題作成にはかなりの労力が必要である。

【否定的な意見】 13.5%

- ・「テストをやれば学力があがる」という思考は短絡的だと思う。毎日の家庭学習の充実こそ必要だと思う。
- ・学力の定着は各教科の授業内に振り返りを含め積み重ねることが大事では。毎時間の振り返り、前時の振り返り、単元の振り返り。一斉にテストをする必要性が感じられない。

(5) 教員補助の配置や公設学習塾の開設は、学力定着に課題を抱える子供の学力向上につながっている。



【肯定的な意見】 93.0%

(公設学習塾)

- ・支援の必要な児童が安心して学習に取り組める。

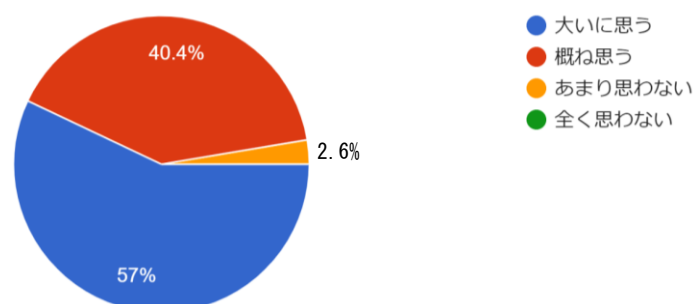
- ・復習をしてくれるのでとても助かる。子どもの定着につながっていると思う。
- ・学力の低い子にとって公設学習塾は、数少ない復習の場なのでありがたい。  
(教員補助の配置)
- ・多くの教員補助の配置で子供たちを支える仕組みを整備していただきありがとうございます。
- ・教員補助員の方は本当に子供たちの個別指導を丁寧に行ってくださいありがとうございます。支援が必要な子供たちも安心して学習できている。
- ・教員補助は、それぞれの子供に合った対応ができるので、とてもありがたいです。

【否定的な意見】 7%

(公設学習塾)

- ・本当に手をかけたい子どもが希望しなかったり、受講させられなかったりという課題はあるかと思う。  
(教員補助の配置)
- ・教員補助の配置は大変有り難いことです。しかし、子供の実態を見ると、まだまだ人手が足りないと感じます。学力向上のため、教員補助の人数を増やしていただきたいというのが本音です。

(6) 教員補助や外国人児童生徒相談員の配置は、特別な教育的支援を要する子供を中心とした個に応じた支援の充実につながっている。



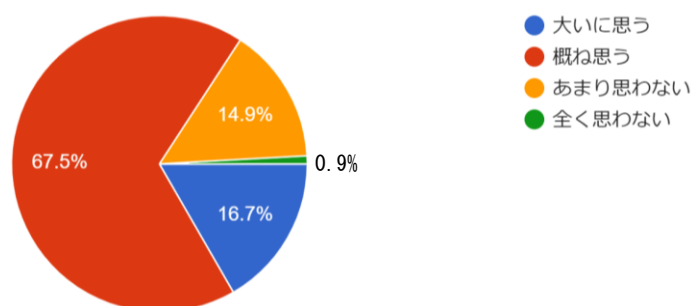
【肯定的な意見】 97.4%

- ・多様な表れをもつ児童は年々増加しています。このような配置は是非、継続（できれば拡充）をお願いしたいです。
- ・外国人児童が増えている現状で今後も必要です。
- ・支援員さんの温かい支援のお陰で、学習に気の向きにくい子供たちも、前向きに取り組めることが多いと感じている。
- ・外国籍児童の支援は、さらに必要になると感じる。特に、日本語がほとんど話せない子どもについては、転校していきなり教室に入って学習するにはとてもハードルが高い。学校へ入学前に、ある程度生活に使える日本語などを習得する場所を設置するなどの手立てが必要だと感じる。
- ・外国籍児童が多いため、この配置があることはとてもありがたいことだと思う。特別な支援を必要とする児童も多くできれば、枠を増やしていただき、特別支援学級や、通常学級に1人でも多く配置していただけるとありがたい。

【否定的な意見】 2. 6%

- ・外国人児童生徒相談員については、本当にありがたいと思うが該当の児童生徒の人数に対して絶対数が不足している。毎日あるいは週に3日など、半日程度でもよいので常時支援していただける体制が必要かと考えます。子ども、教員時には事務職員にとっても、大きな負担軽減につながると思います。

(7) 「幼児教育カリキュラム」や「吉田探究」は、幼児期と小学校期、小学校期と中学校期のつながりのある教育を推進する核となっている。



【肯定的な意見】 84. 2%

(吉田探究)

- ・課題を見つけ、自ら調べるといった学び方を身につけつつある。
- ・商工会等の大人たちが、吉田探究に賛同し始めていることが感じられ、今後の学びの広がりにもわくわくする。
- ・子ども主体で学びが深まっていると感じる。
- ・大きな効果があると感じている。机上の調べ学習だったものが、地域に貢献する学びになってきている。これは、吉田町の特色として継続していくべきだと考える。吉田探究に関連する予算化があればさらによい。
- ・なかなか難しいことかとは思いますが、町内4校のみなので、それぞれの取組や、その連続性などを共有できるとよいと思う。それにより、子どもたちの中にも「我が町」を実感し愛する気持ちがより育つのではないかと考えます。未来の吉田人を育てていくために、とてもよい取組だといつも感じています。

(幼児教育)

- ・町で方向性を示してくれているので取り組みやすいです。
- ・幼児教育とのつながりは、今後も大切にしたい。

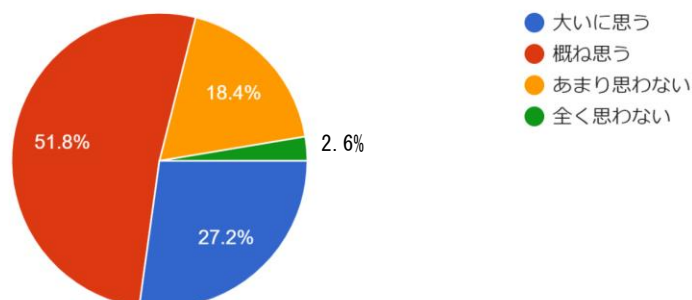
【否定的な意見】 15. 8%

(吉田探究)

- ・小学校で行っていることや中学校で行っていることが、共有できていない。
- ・中学校の先生方は小学校の吉田探究の授業をもっとみて学ぶべきだと思う。

## 2 教職員が授業等に専念できる環境づくり

(1) 授業日の平準化により放課後の時間を生み出したことは、授業改善のための準備時間の生み出しと、超過勤務時間の削減につながっている。



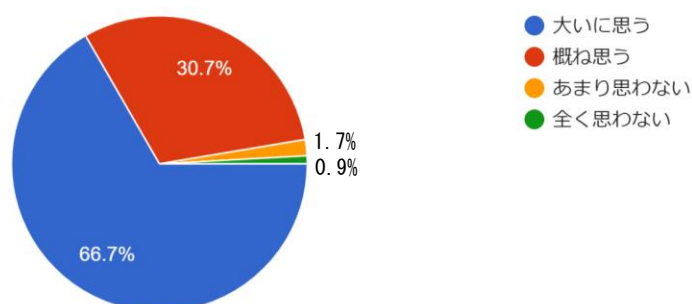
【肯定的な意見】 79.0%

- ・放課後の時間を作ってくれることが、心の余裕にもつながっている。
- ・放課後時間があると教材研究を早く行うことができたので退庁時間が早くなった。
- ・大いに役立っている。ただし部活動があるため、結局勤務時間内で授業準備等をするのは難しい状況である。

【否定的な意見】 21.0%

- ・部活動が入るため授業準備の時間を勤務時間に設けることが難しい。
- ・4時間授業が多くても、純粹に授業準備に使える時間は少なく、研修等も多いので、その後、授業準備をするとすると、結果として、超過勤務時間の削減にはつながっていないと思います。

(2) 学校閉庁日を設定したことは、教職員の自己研鑽の時間を生み出すとともに、休みやすい環境を整える上で効果的である。



【肯定的な意見】 97.4%

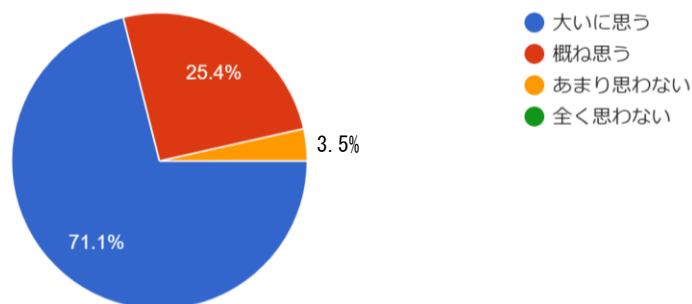
- ・閉庁日には学校に来ないことを意識して、そのために自分は以前よりも計画的に仕事をすることができるようになったと思います。
- ・閉庁日が長いことはとてもありがたく思います。

- ・学校閉庁日を設けてくださったことで、日直業務が減り、体と心を休める日を増やせたことはとても助かりました。ありがとうございます。
- ・今まで他県、他地域で仕事をしてきたが、こんなにまとめて休暇をとれるのは吉田町だけだと思ふ。とても感謝している。

【否定的な意見】 2. 6%

- ・部活動で上位大会に進んだ場合、実質、休暇は取れない。

(3) 校務アシスタントや学校用務員、部活動指導員の配置は、教職員の業務を物理的に減らし、教職員の多忙化解消につながっている。



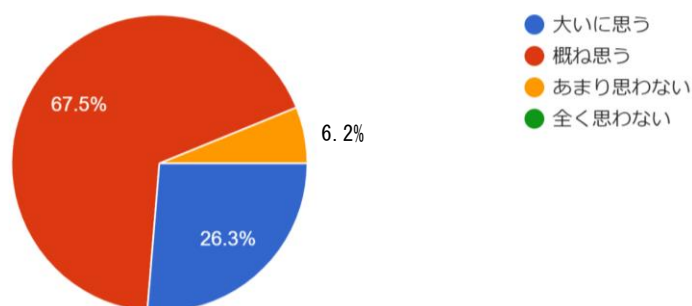
【肯定的な意見】 96. 5%

- ・校務アシスタントの町単独での配置は、大変ありがたいです。業務を物理的に減らすことに大きくつながっています。
- ・印刷業務をお願いできることで、その分の時間を教材研究に充てることができる。
- ・多岐にわたる人付けは吉田町の強みで、あちこちで自慢している。皆が集まり、目標の共有が図られると更に整う。
- ・細部にわたる作業で、校務アシスタントや学校用務員がしてくださることは、本当助かります。部活動指導員は顧問より高い専門知識のおかげで良い練習ができます。
- ・校務アシスタントの仕事は、教員が授業に集中できる環境づくりに大きな成果を生んでいると思う。助かっている。

【否定的な意見】 3. 5%

- ・誰が何をどの程度やってくれるのか全く知らない。

(4) 全教職員研修会やICT研修、その他、各主任レベルの研修会は、教職員の資質能力の向上につながっている。



【肯定的な意見】 93.8%

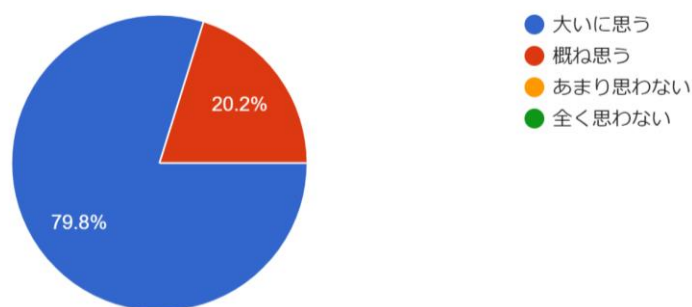
- ・ 町内で情報交換を行ったり、足並みをそろえて研修を進めたりするのに有効だと感じます。
- ・ 他校やいろいろな先生方の話を伺うことは刺激になるし、今後の教育の在り方を考えさせられる。
- ・ 頻度が高くとても良いと思う。負担感がないわけではないが、吉田町の目指す姿は他市町村よりも格段に浸透していると感じる。

【否定的な意見】 6.2%

- ・ 飽和状態で疲弊を感じる。業務のICT化で報連相が行き来しすぎの感も受け、管理職の管理が行き届くか不安も感じる。

### 3 基盤的整備

(1) 「エアコンの完備」「トイレの洋式化」「教室照明のLED化」は、安心して教育活動を行うことにつながっている。

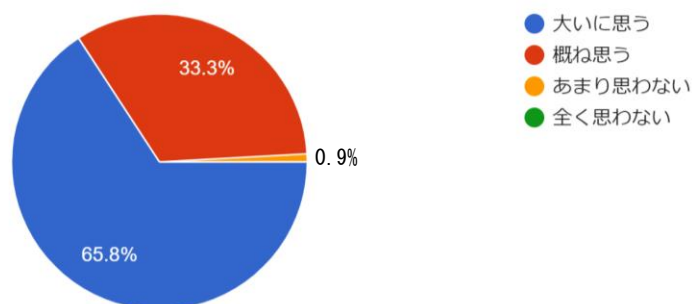


【肯定的な意見】 100%

- ・ 体育館のエアコン設置は、コロナ禍においても学びを止めないために欠かせないものだと感じています。
- ・ とても快適に過ごせています。
- ・ 特別教室にもエアコンが完備されているため、作業活動が暑い時期でも集中力を切らさずに行うことができる。
- ・ 環境を整えることでどの子も集中して取り組むことができている。
- ・ 地球温暖化でますます夏が厳しい時代となりました。文科省が全国小中学校にエアコン設置を言う前より吉田中学校にエアコン設置に動いてくださったこと、とてもありがたく思っています。



(2) 「一人一台端末の整備」「大型提示装置（電子黒板・テレビ）の整備」「Wi-Fi環境の整備」は、子供の学びの充実につながっている。



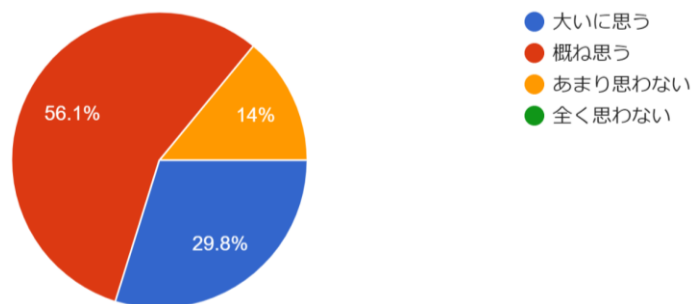
【肯定的な意見】 99.1%

- ・設備が充実しているため、授業者として授業の幅が広がり、様々な場面でICTを活用することができます。
- ・動画の視聴を各自、自分のペースで行うことができたり、授業の振り返りをタブレット入力で行ったりすることができるため、生徒のペースに合わせることができる。
- ・吉田町は他の市町に比べてICT関連の環境はとても整っている。教育委員会の努力に頭が下がる。とてもありがたい。贅沢な悩みで申し訳ないが、さらに全ての教室に電子黒板が導入されるとよいと思う。これだけ、Googleを活用するのであれば、文章やC4t hなどもGoogle化した方が校務がよりスマートにできる。情報漏洩についての課題もあると思うが、教育のDXを推進するべきだと思う。吉田町ならいち早く取り組むことができるのではないか。

【否定的な意見】 0.9%

- ・端末がゲームになり、充実につながっていない部分もある。

(3) コミュニティ・スクールを導入したことは、学校と地域との連携が深まるとともに、児童生徒が楽しく学校生活を送ることにつながっている。※コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）…学校と地域住民・保護者が力を合わせて学校の運営に取り組み、子供たちの学びや体験活動を充実させる仕組み。吉田町では、令和4年度から各校でこの仕組みを導入した。



**【肯定的な意見】 85.9%**

- ・コミュニティ・スクール・ディレクターさんがいろいろなことを提案してくれて地域の方々とともに学校をつくっていていると感じます。
- ・学校に浸透してきている。これは、担当とコミュニティ・スクール・ディレクターのおかげである。徐々に浸透させていくことが重要であり、性急に形を整え結果を求めると、形だけのものになってしまうため、まずは、今年のような小さな取組を積み重ねていきたい。
- ・まだ、コミュニティ・スクール・ディレクターと試行錯誤しながらの取組ではあるが、より、子供も教師も、地域の方も、地域の学校を意識できる取組にしていきたい。

**【否定的な意見】 14.1%**

- ・具体的に学校・授業が変わったとは思えない。
- ・コミュニティー・スクール→連携の深まり、楽しい学校生活の結びつきはあまり感じられない。コミュニティ・スクールを導入したことで、具体的に何がどう変化したのか知りたい。